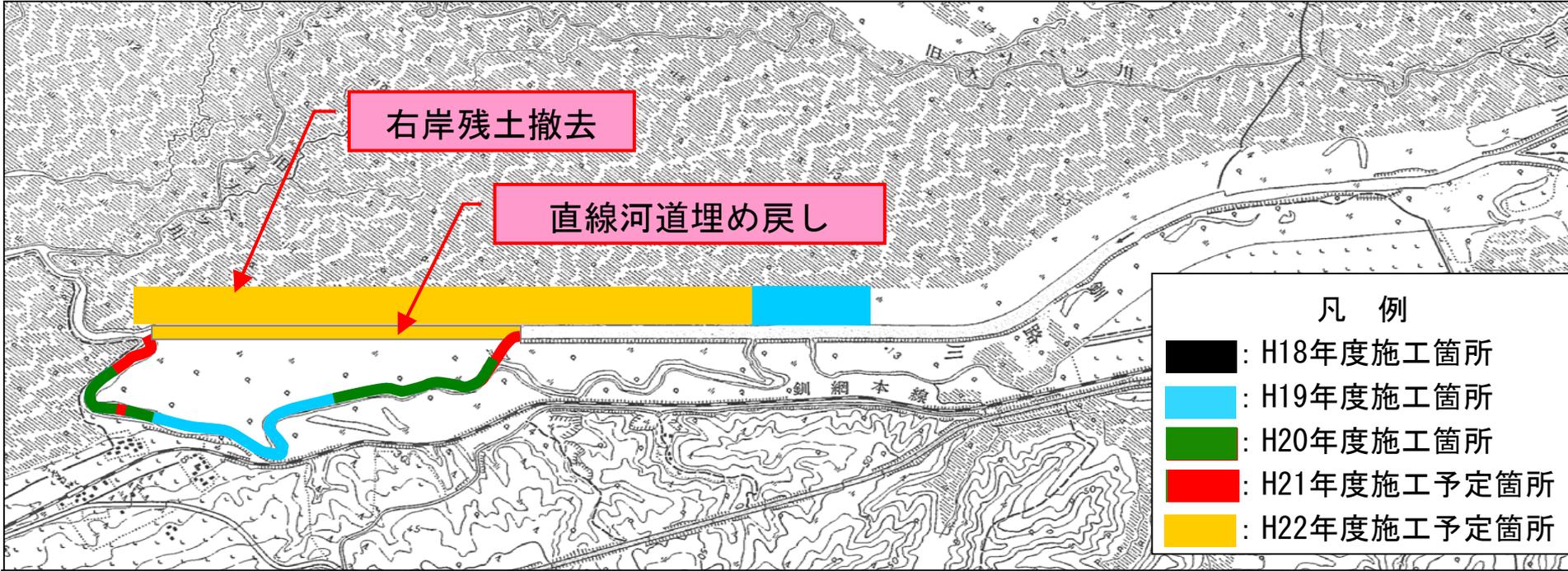


# 1. 旧川復元工事の進捗状況について

# 1-1. 工事の年次計画

平成22年2月に旧川への通水完了。平成23年3月までに右岸残土撤去と直線河道埋戻しを実施。

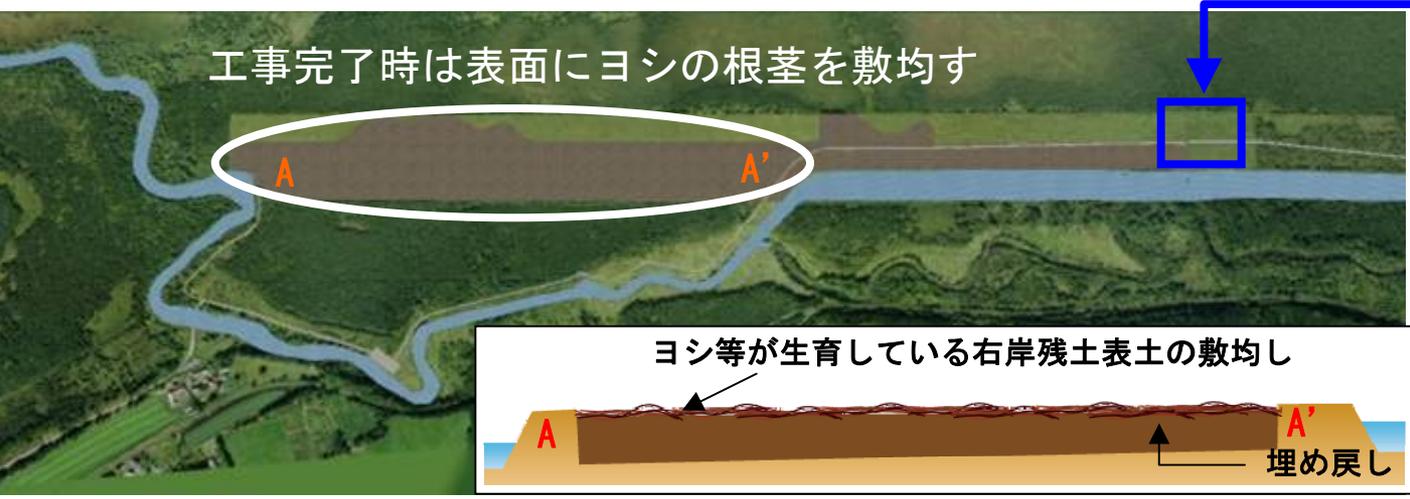
		年度	H18	H19	H20	H21	H22	
施工 工程	仮設工		[Blue bar from H18 to H21]				[Blue bar in H22]	旧川河道に切り替え 旧川復元工事完了
	右岸残土撤去(400m)			[Blue bar in H19]			[Green bar in H22]	
	旧川復元(旧川掘削、直線河道締切)			[Blue bar from H19 to H21]			[Purple bar in H22]	
	右岸残土撤去・直線河道埋戻し						[Yellow bar in H22]	



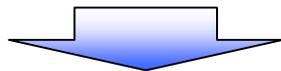
年度別施工予定箇所図

# 1-2. 直線河道埋め戻し時の配慮事項 (1/2)

直線河道埋め戻し箇所の表面にヨシが生育している右岸残土の表土を敷均し、湿性植物の回復を早めるよう配慮。



▲平成22年度工事完了時の状況 (イメージ図)

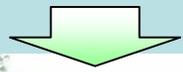


▲工事完了から数年経過した状況 (イメージ図)

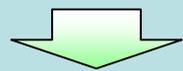
右岸残土撤去箇所の状況



湿性植物のイグサ等が繁茂  
(H20. 7: 残土撤去1年目)



湿性植物のイグサ等が繁茂  
草丈・植被率は1年目より上昇  
(H21. 7: 残土撤去2年目)



湿性植物のイグサ等が繁茂  
河岸の一部ではヨシ等が生育  
( H22. 8: 残土撤去3年目)

# 1-2. 直線河道埋め戻し時の配慮事項 (2/2)

直線河道埋め戻しは、直線部の魚類を移動した後、上流側より実施。

## ■埋戻し手順

